

## 目 次

初版の序文から	1
第2版の序文	2
訳者まえがき	3
<b>第1章 最適系の問題</b>	<b>7</b>
§1. 最適系の意義	7
§2. 最適系の分類	13
§3. 最適規準	22
§4. 制御対象に関する情報を制御装置にとり入れること	29
§5. 最適系理論の問題の構成	37
<b>第2章 最適系に応用される数学的手法</b>	<b>43</b>
§1. 確率論	43
§2. 変分法	62
§3. ダイナミック・プログラミング	76
§4. 最大原理	89
<b>第3章 制御対象について完全な情報をもつ最適系</b>	<b>113</b>
§1. 最大速応性の問題：位相空間の方法	113
§2. 古典変分法の応用	141
§3. ダイナミック・プログラミングの応用	159
§4. 最大原理の応用	177

第4章 制御対象について最大限の不完全情報をもつ最適系 .....	189
§1. 制御対象についての最大情報をもつ連続系 .....	189
§2. 制御対象についての最大情報をもつ離散 - 連続系および純離散系 .....	206
参考文献 .....	229
索 引 .....	241

## 第2巻の目次

第5章 対象について独立（受動的）な情報蓄積を行なう最適系

第6章 能動的な情報蓄積を行なう最適系

第7章 2元的制御理論の応用

補 遺

結 論

参考文献

索 引